

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年01月18日(火)

事務事業		情報システム運営管理事業		担当課	ICT推進室	担当係	情報システム係	管理番号	2723	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有□	有□	
	行計画分野策別名	大項目	200006	みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令 個別計画等	深谷市情報セキュリティポリシー				
		中項目	200002	将来に向けた持続可能なまちづくり						
	小項目	200003	行政財政運営の推進							
事業概要		住民基本台帳、税、福祉、保育等の基幹系業務システムの安定的な運用と、効率的な行政運営を行うため、グループウェア等の内部業務系システム・ICTインフラ・庁内外ネットワークを整備・運用するものである。また、新庁舎におけるネットワークシステムを構築する。								
目的 ※何のために		基幹系業務システム（総合行政システム）の運用により、安定した市民サービスを提供するため。システムやネットワークの可用性を維持し、事務の継続性を保つため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民及び職員								
手段 ※どのように		総合行政システムをクラウド化し、災害時でもデータが利用できる仕組みを構築する。ネットワーク機器等の定期的な保守点検を実施する。								
成果 ※何を求めるか		総合行政システム及びネットワーク等の安定した運用を図る。新庁舎ネットワークを構築し、ICTインフラを整備する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 市職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	02	総務費	01	総務管理費	06	情報管理費	情報システム運営管理事業	560,004,162
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の主な業務		・ 総合行政システムの運用保守管理						・		
		・ グループドメイン管理						・		
		・ ネットワーク管理						・		
		・ 内部業務系システムの管理						・		
		・ 埼玉県セキュリティクラウドへの接続・利用						・		
		・ 新庁舎ネットワークシステム構築						・		

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		総合行政システムの更改	総合行政システムの運用	総合行政システムの運用	総合行政システムの運用	総合行政システムの運用	全庁的システムの運用
			新庁舎ネットワーク基本設計	ネットワークの整備運用	新庁舎ネットワーク構築・移転	新庁舎ネットワークの運用	庁内外ネットワークの運用
				新庁舎ネットワーク構築	内部業務系システム更改		OA機器の維持管理・運用
事業費	予算（現額）	145,203,000	137,908,000	311,022,000	594,098,000	179,286,000	234,745,000
	決算額	143,784,751	136,331,343	309,195,428	560,004,162	0	0
	財源内訳	国支出金	2,904,000	0	0	27,940,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	142,500,000	347,500,000	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	140,880,751	136,331,343	166,695,428	184,564,162	179,286,000	234,745,000
人件費	従事職員数(人)	1.55	2.05	4.10	3.00	2.80	4.05
	人件費相当試算 ※1	12,057,450	15,953,100	33,230,500	24,408,000	22,780,800	32,950,800
		0	0	0	0	0	0
(総事業費試算)		155,842,201	152,284,443	342,425,928	584,412,162	202,066,800	267,695,800

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
	活動指標 1	総合行政システム稼働日数	目標値 実績値	日	365.00 365.00	365.00 365.00	366.00 366.00	365.00 365.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		年間稼働日数を目標値としている							
		実稼働日数									
	成果指標 1	システムトラブル発生件数	目標値 実績値	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		トラブルが発生しないことを目標値としている							
		2時間以上窓口業務に支障									
			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
年度別目標値の設定根拠											
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□	
	年度別目標値の設定根拠										
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□	
	年度別目標値の設定根拠										
		目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□	
	年度別目標値の設定根拠										

4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明	
		システムを停止するようなトラブルもなく、安定して稼働することができた。	
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明	
		窓口を長時間停止するようなトラブルはなかった。	
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明	
		評価者	情報システム係長 古郡 貴雄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	総合行政システムについては、引き続き正常な運営管理を継続する。 新庁舎ネットワーク構築業務については、現場での構築業務開始から、各システムの移転作業、移転後の運用までの一連の業務を滞りなく進める。
達成状況 及び その効果	総合行政システムについては安定した稼働を実現できた。 新庁舎ネットワーク構築業務については、担当課との詳細な調整、各システムの移転作業など、現場における構築をスケジュールどおり完了できた。また、新庁舎におけるネットワーク安定稼働を達成できた。

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	情報システム運営管理事業	担当課	I C T 推進室	担当係	情報システム係	管理番号	2723
<div>■ ① 現状のまま継続 □ ② 見直して継続 □ ③ 拡充・重点化（コスト投入） □ ④ 目的達成による終了 □ ⑤ 廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討 □ 成果向上のための改善 □ 効率化のための改善 □ 事業規模の縮小 □ 他の事務事業と統合</div>				評価の内容説明 総合行政システムは、新庁舎移転に伴う移設作業を問題なく実施できた。また年間を通して安定稼働が実現できた。			
上記を実施するための具体的な取り組み内容は？				評価者	I C T 推進室長 前野 武一		

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	総合行政システムについては、引き続き正常な運営管理を継続する。また、総合行政システムおよびインターネット接続環境の保守が今年度中に満了するため、各システムの更新に向けて、適正かつ遅滞なく業務を進める。
--------	--

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	総合行政システムについては、令和7年度までに、国の標準化システムに準拠するように、着実に業務を進める。
-------	---

9. 評価指標グラフ

